

(インタビュアー)

本日は、SDGs の「まちづくりカフェ」に御参加いただき、ありがとうございます。本日は、SDGs ということをテーマにワークショップを行ったのですが、「SDGs」という言葉については、元々御存知でしたでしょうか。

はい、知っていました。

ありがとうございます。

今日のオリエンテーションや皆さんのお話の中で、SDGs の話がいろいろ出てきたと思うのですが、例えば、どのゴールが御自身にとって関心がありますか。

「健康」についてのものになります。

(ゴール3：すべての人に健康と福祉を)

なるほど。それについて、今後つくば市にこういったことをやって欲しいこと、もしくは協力して欲しいことなどを挙げるとしたら、どんなことがありますか。

「健康」というものは、どんどん常識が変わっていて、「何が正しい健康状況なのか」というのは、開発・研究によって変化しています。

筑波大学が近くであり、最新の研究等がされていて、でも、一般の方が論文を読むかという、なかなか…(機会がありません)。そのため、市にはその間に入って、コーディネート役というか、通訳のような形で入ってもらって、一般の方にも情報が簡単に伝わるようになるといいなと思います。

健康状況だとか、支援や教育を受けて、教育する側とされる側の仕組みが作られると、より興味関心が生まれるのでは。「自分の健康状態を知りたい」などの自分のカラダのことをもっと知りたいという「欲」を促してあげるような仕組みがあるといいな、と思います。

ありがとうございます。

最後に、10年後のつくば市は、どんなまちになっていたらいいなと思いますか。

「健康」に困る人がゼロになることです。

みんなが気軽に運動していたり、食のことを考えたり、働きすぎず休みをしっかり取ったり。普段の生活リズムから、ひとそれぞれ個人で「これが自分の健康（な状態）であり、幸せだよ」と思っていけるような、そんな社会になってほしいと思います。

本日はどうもありがとうございました。